

セミナーのご案内

今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

教授法・FD シリーズ 11(通算 399 回)

2008 年 11 月 17 日(月)

教育活動のエビデンスと組織的改善

ティーチング・ポートフォリオの活用と導入方策

～ 授業実践記録による教員の授業「省察」/ 教員評価の有効なツール ～

TP の役割・作成方法 / 授業哲学の明確化 / 国内外の実践・活用例

能動的学習のためのシラバス / TP 導入シナリオと提言 / 実践ワークショップ

教授法・FD シリーズ 12(通算 400 回)

2008 年 11 月 18 日(火)

学習活動の“見える化” / 資格志向からの脱却

ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策

～ 学生にとっての在学中そして卒業時の貴重な記録 ～

LP の役割・構成・作成方法 / 能動的学習の促進 / 国内外の実践・活用例

評価・フィードバック / LP 導入シナリオと単位制度の実質化 / 実践ワークショップ

講師：土持ゲーリー法一 氏 / 弘前大学 21 世紀教育センター高等教育研究開発室教授

日時：TP：2008 年 11 月 17 日(月) 13:00～16:40
LP：2008 年 11 月 18 日(火) 13:00～16:40

会場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より徒歩 4 分、JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩 10 分

会場の地図及び受講証を送付しますので必ずご確認ください。

参加費：	当日参加	メディア参加
	TP 37,000円	38,000円
	LP 35,000円	36,000円
	両日 60,000円	62,000円

ご一名(資料代込)。TP はテキスト代込。
メディア参加は、資料・カセットテープを送付。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110 - 8 - 81660

全ての口座名 < (株)地域科学研究会 >

ご請求なき場合は振込受領書を領収書に

代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel：03(3234)1231 / Fax：03(3234)4993

E-mail：kkj@chiikikagaku-k.co.jp

参加費の払い戻しはいたしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

教授法・FD シリーズ 11

2008 年 月 日

ティーチング・ポートフォリオの活用と導入方策

当日参加

メディア参加

教授法・FD シリーズ 12

ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策

当日参加

メディア参加

勤務先

所在地 〒

TEL

FAX

連絡部課・担当者

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類〔 請求書 見積書 〕

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

ティーチング・ポートフォリオの活用と導入方策

2008年11月17日(月)

参加申込者には、簡単な事前準備をしていただきます。なお、事前準備要領はE-mailにて開催10日前に送付いたします。
【指定テキスト】土持ゲーリー法一(2007)『ティーチング・ポートフォリオ：授業改善の秘訣』東信堂。<事前送付します>

時間	講義項目	
13:00 ~ 14:40	<p>A. ティーチング・ポートフォリオの理論と実践</p> <p>1. ティーチング・ポートフォリオの理論</p> <p>(1) ティーチング・ポートフォリオの役割</p> <p>(2) ティーチング・フィロソフィー(授業哲学)の確立</p> <p>(3) 能動的学習のための授業シラバスの見直し</p> <p>2. ティーチング・ポートフォリオの実践</p> <p>(1) 海外の実践例 : カナダ・ダルハウジー大学</p> <p>(2) 海外の実践例 : カナダ・クイーンズ大学</p> <p>(3) 弘前大学の取組: 「教育者総覧」の作成</p>	質疑応答
14:50 ~ 16:00	<p>B. ティーチング・ポートフォリオの作成方法と活用</p> <p>3. ティーチング・ポートフォリオの作成方法</p> <p>(1) ティーチング・ポートフォリオ(作成ワークショップ)</p> <p>(2) 証拠資料: 学生による授業評価や同僚による授業評価などの収集</p> <p>(3) メンターリングの重要性: FD コンサルタントの導入と活用</p> <p>4. ティーチング・ポートフォリオの活用(カナダの場合)</p> <p>(1) 労働協約上、研究(40%) 教育(40%) サービス(20%)と規定</p> <p>(2) ティーチング・ポートフォリオの活用: 教員の「義務」ではなく「権利」</p> <p>(3) 授業改善としての活用: 学科長による評価権限・指導権限の重視</p>	質疑応答
16:10 ~ 16:40	<p>C. ティーチング・ポートフォリオの導入シナリオ</p> <p>(1) 組織的導入を成功させるための5つの提言</p> <p>(2) 中教審「審議のまとめ」とティーチング・ポートフォリオの可能性</p> <p>(3) アカデミック・ポートフォリオ~新たな教員業績評価システムの構築</p>	質疑応答

ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策

2008年11月18日(火)

参加申込者には、簡単な事前準備をしていただきます。事前準備要領・資料はE-mailにて開催10日前に送付いたします。

時間	講義項目	
13:00 ~ 14:40	<p>A. ラーニング・ポートフォリオの理論と実践</p> <p>1. ラーニング・ポートフォリオの理論</p> <p>(1) ラーニング・ポートフォリオの役割</p> <p>(2) ラーニング・フィロソフィー(学習哲学)の確立</p> <p>(3) メタ認知による省察</p> <p>2. ラーニング・ポートフォリオの実践</p> <p>(1) アメリカ・ズビラッテ教授の実践例</p> <p>(2) 弘前大学の授業の実践例</p>	質疑応答
14:50 ~ 16:00	<p>B. ラーニング・ポートフォリオの作成方法と活用</p> <p>3. ラーニング・ポートフォリオの作成方法</p> <p>(1) ワーキング・ポートフォリオ・ファイルの準備</p> <p>(2) 証拠資料: 指定図書課題と講義メモの作成/フィードバック</p> <p>4. ラーニング・ポートフォリオの活用</p> <p>(1) ラーニング・ポートフォリオの課題</p> <p>(2) ラーニング・ポートフォリオの評価法(ループリック)(作成ワークショップ)</p>	質疑応答
16:10 ~ 16:40	<p>C. ラーニング・ポートフォリオの導入シナリオ</p> <p>(1) FD研修による単位制度の実質化とラーニング・ポートフォリオ</p> <p>(2) 能動的学習を促すMIT方式試験</p> <p>(3) 中教審「審議のまとめ」とラーニング・ポートフォリオの可能性</p>	質疑応答